

forum かわあばん

発行：(一社)福井県建築士会 〒910-0854福井市御幸3-10-15(福井県建設会館) TEL(0776)24-8781/FAX(0776)24-9570
登録番号：T1210005000262 E-mail：info@fukuiken-kenchikushikai.or.jp HP：http://www.fukuiken-kenchikushikai.or.jp/

お知らせ

日本建築士会連合会発行
「浸水被害住宅の技術対策マニュアル」講習会の開催

本講習会を受講された方は福井県浸水被害住宅相談員に登録することができます。

と き：令和6年2月20日(火) 14:00～16:30

ところ：中小企業産業大学校 大教室 定員：50名

受講料：無料 テキスト代：1,000円 CPD単位：2単位予定

講師：愛知建築士会副会長 石井隆司氏、福井県土木部建築住宅課 担当職員

主催：福井県建築士会 共催：福井県、日本建築士会連合会 後援：国土交通省

申込：福井県建築士会HPより受講申込書をダウンロードし、士会宛にメールまたはFAXでお申し込みください。

お知らせ

令和5年度

一級・二級・木造建築士
定期講習について

定期講習は建築士法により建築士事務所に所属する建築士が3年に1回必ず受講しなければならないこととなっております。

令和2年度中に受講された方は、令和5年度中に受講する義務があります。未受講の方は建築士法違反になりますので、対象の方は必ず受講するようお願いいたします。

建築士会では下記のとおり年度内最後の開催となります。受講される方は早めの申込みをお願いします。

申込書は福井県建築士会のホームページからダウンロードできます。

第4回 令和6年2月27日(火)(定員50名)

ところ：福井県中小企業産業大学校
(福井市下六条町16-15)

受講料：12,980円

受付：随時行っています。

定員に達し次第締め切らせて頂きます。

講義方式：DVD講習

※CPD単位が6単位つきます。昼食を用意しています。

専攻建築士
更新・新規申請について

1 更新申請 2024年1月4日から2月29日の間にWEBにて申請願います

更新要件は、直近5年間のCPD60単位以上の取得が必要です。なお、専攻建築士認定後10年を超える方は、定期講習又は監理技術者講習のいずれかを受講し、6単位以上のCPD単位を取得することで更新可能です。ポートフォリオの追加もオンラインでできます。

2 更新料金

- ◎WEB申請 — 9,900円(税込、領域数に関係なし)
- ◎窓口申請 — 13,200円(1領域、税込)

3 新規認定 建築士会窓口で

- ◎要件 ①免許取得後5年以上の実務経験
②実務実績3件以上
③直近1年間のCPD12単位以上
(R5.12月末)
- ◎認定費用 17,600円(1領域、5年間分税込)

*日本建築士会連合会サイトの専攻建築士申請から「登録更新申請操作マニュアル(WEB操作)」「登録更新申請へのアクセス」をご覧ください。

*登録期限が切れてしまっている方もオンラインで申請できます。

*カードの必要の方は上記の料金の2,200円プラスとなります。

令和5年度のWEBでの更新申請は2月29日木までに行ってください

令和5・6年度 監理技術者講習 開催のお知らせ



本講習は公益社団法人日本建築士会連合会が国土交通省より「監理技術者講習」の登録講習機関の認可を受け、福井県建築士会が開催するものです。本年度は右記の日程表のとおり開催します。特に、一級建築士、1級建築施工管理技士、1級電気工事施工管理技士、1級管工事施工管理技士等の建築工事分野でご活躍されている監理技術者を対象に、実務に役立つ充実した内容の講習を行いますので、この機会に多くの建築施工系監理技術者の受講をお願いします。

受講申込：随時行っています。

受講料：テキスト・講習修了ラベル代込、税込

・WEB申込み…9,500円/1名 ・郵送・窓口申込み…10,000円/1名

講習の内容：DVDによる講義+修了試験(計360分)行います。

申込み方法：日本建築士会連合会のホームページで「監理技術者講習」の

申込ページをご覧ください。<http://www.kenchikushikai.or.jp/>

※企業一括申込み(2名以上)が可能です。詳しくは下記まで電話下さい。

問合せ先：(一社)福井県建築士会 TEL 0776-24-8781 まで

土木系の監理技術者の
受講も可能です。

◆令和5年度監理技術者講習 日程表

会場	開催日	会場
福井	2月7日(水)	第2演習室 (定員18名)
敦賀	2月21日(水)	会議室 (定員15名)

◆令和6年度監理技術者講習 日程表

会場	開催日		
福井	4月10日(水)	6月5日(水)	8月7日(水)
	10月2日(水)	12月11日(水)	2025年 2月5日(水)
敦賀	6月26日(水)	10月22日(火)	

福井会場/第2演習室(定員12名)
敦賀会場/会議室(定員15名)

◆会場所地

【福井会場】福井県中小企業産業大学校

(福井市下六条町16-15)

【敦賀会場】プラザ万象(敦賀市東洋町1-1)

建築士会が行う 監理技術者講習 の特色

- 1 建築に特化した実務に役立つ講習
- 2 わかりやすく利便性の高いテキスト使用
- 3 建築士会CPD単位6単位の付与
- 4 上記以外に建築士会CPD制度加入者の方は建築士会連合会のWEB問題回答でのCPD単位(2ヶ月に一度3単位取得可能年間最大18単位)が受講後5年間取得可能となります。

情報提供コーナー



- 国土交通省・環境省・経済産業省が連携して支援する「住宅省エネ2024キャンペーン」および「子育てエコホーム支援事業」の公式ホームページが開設されました。

▷住宅省エネ2024キャンペーン 公式ホームページ
<https://jutaku-shoene2024.mlit.go.jp/>

▷子育てエコホーム支援事業 公式ホームページ
<https://kosodate-ecohome.mlit.go.jp/>

- 建築士事務所の開設者がその業務に関して請求することのできる報酬の基準(令和6年国土交通省告示第8号「業務報酬基準」)が令和6年1月9日付けで公布・施行となりましたのでお知らせいたします。詳細は国土交通省HPにてご確認ください。

「なるほど福井!市民歴史講座」のご案内

第9回「福井城址の戦後史と 県都の顔づくり」



戦後福井の復興事業では、駅前中央通りと三角地帯の新設とともに、福井城址の保存活用をめぐる「県都の顔づくり」が最大の課題でした。

五十嵐直雄・小長谷義一による福井駅前・城址活用の最初期計画案1972などを通して、戦後建築都市史の視座から現代的意味を読み解きます。

と き：令和6年3月2日(土) 10:00~11:30

講 師：福井工業大学教授・工学博士 市川秀和氏

と ころ：アオッサ6階 研修室602

申し込み先：歴史のみえるまちづくり協会

TEL.0776-35-0855(月~金 9:00~17:00)

E-mail info@fukui-rekimachi.jp

【1970~90年代の県外建築家の作品紹介①】

廣瀬廣嗣・野中裕介・川端秀和・朝日海秀・市川秀和



黒川紀章(1934~2007)



現在の全景(正面入口より)

くろかわ きしゅう 黒川 紀章：自由な曲線のフラクタル幾何学

「福井市美術館 1996」

建築家のことば/「建築の形態はすべてフラクタル幾何学による、より自由な抽象性を狙っている。円、円錐、正方形、球といった幾何学の原因による展開は、その配置による関係の多様性からいっても無限の多様な表現の可能性をもっているが、たぶんその先は幾何学的形態(規則)と自由(不規則)が溶解する領域の展開だという予感をもっている。」 黒川紀章(『新建築』1995.1)

建築家・黒川紀章(1934~2007)は、愛知県で生まれ、京都大学西山卯三研究室を卒業後、東京大学大学院工学研究科・丹下健三研究室へ進学し指導を受け、在学中に株式会社黒川紀章建築都市設計事務所を設立。また、1960年に建築理論メタポリズムを提唱し、従来の固定した形態や機能を支える「機械の原理」から、社会の変化や人口の成長に合わせて成長する「生命の原理」に基づいた都市や建築を提案。メタポリズムの考えをコンセプトに、増築や取替えが可能な「中銀カプセルタワービル(1972)(解体済み)」や「国立新美術館(2006)」等、数多くの作品を発表した。また、理論家としても知られ、『黒川紀章著作集 全18巻』(勉誠社2006)を出版した。県内には、「福井市美術館」(『新建築』1997/10)や「福井県立恐竜博物館」(『新建築』2001/1)が現存する。下馬中央公園内の南側に位置する福井市美術館は、外部からも展示の一部が見える透明性の高い建築であり、その建築の形態は全てフラクタル幾何学によって構成されている。緩やかで自由な曲線によって描かれた境界は公園内の築山と相互浸透し、公園との一体化や連続性を高めている。外部の風景は内部空間へ取り込まれ、森の中を散策しながら美術作品を楽しむ印象を来館者へと与える。自由(不規則)な形態の中にある幾何学(規則)、そこに新しい建築の形態がある。(川端秀和/榎木下設計)